



2022年度! 大阪の隅から隅まで作業療法を!

一般社団法人 大阪府作業療法士会
会長 関本 充史 (株式会社かなえるリンク)



2022年度は、0.43%増の診療報酬改定とはなりましたが、社会保障費が逼迫している中、質の高い医療提供や効果ある介入がより一層求められています。今回の改定は、①新型コロナウイルス感染症等にも対応できる医療提供体制の構築、②医師等の働き方改革等の推進、③安心・安全で質の高い医療提供、④社会保障制度の安定性・持続可能性の確保、が基本的視点として挙げられています。皆さんの所属施設に関する項目だけではなく、関連する項目へも目を向けて頂き、臨床現場に取り組んで頂きたいと思います。また、令和6年度は、診療報酬改定、介護報酬改定、障害福祉サービス等報酬改定となります。多領域で活躍する作業療法士がそれぞれの領域で、効果ある作業療法を実践し検証して頂きたいと思います。

2021年度を振り返ってみると、対面を切望したが実現できなかった第35回大阪府作業療法学会、各種Web研修会無料実施、教育フォーラム、新卒者へのフォロー体制モデル事業、はたらくをテーマに「はたせん」の設立、臨床実習指導者講習会大阪府養成校協議会との研修会運営、大阪府介護予防活動強化推進事業への協力はじめ、各自治体からの介護予防事業、障害者職業生活相談員資格認定講習における講師等事業受託しました。コロナ禍でも自治体からの依頼は2020年度より増加

しており、内容も多様化しています。自立支援に資するケアプラン立案に向けた支援や、福祉用具適合に関する支援など、対象者への直接的な介入ではなく、作業療法の視点を活かしたマネジメントの関わりが主になっています。

2022年度は役員選挙となり、新たな体制で進めていくこととなります。①組織強化、②人材育成、③他団体との交流を進めていきたいと思っています。組織強化は、府士会会員の結束力を上げていくだけでなく、協会との連携で「協会員=士会員」を検討していきたいと思っています。「協会員=士会員」に関しては、後述をご覧頂ければと思います。人材育成は、今年度も士会員に対しては研修会を無料実施すると共に、教育フォーラムをより一層深めていくこと、感染対策しながらにはなりますがWeb研修を中心として対面実施も検討していきます。他団体との交流は、はたらくをテーマにした「はたせん」でも企画してくれている就労に関わる他団体とのシンポジウムやバリアフリー展などで作業療法の啓発を進めていきます。職能団体の中でも、極めて20歳代から30歳代の会員が多い団体です。働き方改革もある中での、職能団体としての活動の仕方を皆さんと一緒に見つけていながら、府民に役立つ作業療法を広め、活用してもらうために臨床力を高め研鑽できる環境をつくっていきます。